# 第133回浜田市教育委員会定例会議事録

日　時：平成28年6月30日（木）　15：00～16：33
場　所：浜田公民館第3研修室
出席者：石本教育長　藤本委員　宇津委員　金本委員　花田委員
事務局　山本部長　佐々木課長　森脇課長　岡田室長
　　　　山根課長　島田館長　長見所長　渡邉課長　村瀧室長
　　　　大﨑分室長（欠席）　栗栖分室長　森下分室長　吉野分室長
　　　　書記：小林係長　日ノ原主任主事

議事
1　教育長報告
2　議題
（1）　社会教育委員の選任について（資料1）
（2）　浜田市指定文化財の指定解除について（資料2）
3　部長・課長等報告事項
4　その他
（1）　島根県市町村教育委員会連合会平成28年度第2回理事会、総会及び研修会について
（2）　平成28年度西部地区①教育懇話会について
（3）　その他

1　教育長報告

| | |
|---|---|
| 石本教育長 | 今年に入り、ご存知の様に度重なる熊の目撃情報がある。先月もそういったお話をしたが、まだまだ出ており、昨日の夕方も竹迫のバイパスを横切って、ゆうひパークの隣の周りを動いていたといった状況であった様である。近辺には三階小学校や雲雀丘小学校があるということで、色々と心配なこともあるが、自然が相手なので注意をしていくしかないかと思っている。6月の下旬に三階小学校の4年生が三階山で野外活動を予定されていた。これについては学校側もどうするか迷っていたが、教育委員会から、延期をしてほしいと申し入れをした。7月初旬には旭小学校が八戸川で川を使った野外体験を予定していたが9月に延期をすることになった。学校の方もかなり気を遣って対応をしているので、何とか熊も里に出ずに山の方で過ごしてくれればと思っているところである。また、夏休みを迎えるので夏休み中の家庭での対応 |

については、校長会があるので学校に徹底をするように指示をしていきたいと思う。

① 5 月 29 日（日）旭小学校土俵開き及び相撲大会（旭小学校相撲場）

武蔵川親方（第 67 代の横綱武蔵丸さん）が来られて、お弟子さんの横江さんと武蔵平さんが一緒に来られた。相撲の練習の時間や子供と一緒に相撲を取られるといったこともされた後で旭小学校の相撲大会が 1 年生から 6 年生まで参加をして行われた。児童、保護者、地域の方々200 人以上が集まられて盛大な土俵開きになった。花を添えていただいた武蔵川親方にはお礼を申し上げたいと思っている。武蔵川親方のマネージャーをやっている方が浜田出身の方で、そんなご縁で今回のご招待ということになった様である。

② 6 月 2、8、9 日（木・水・木）浜田市中学校総合体育大会・ソフトテニス、バレーボール、野球、バスケットボール、卓球、柔道、サッカー

6 つの競技の会場へ 3 日間で顔を出したが、委員方も色々な競技の会場に足を運んでいただいてご声援いただいたということで本当にお礼を申し上げたいと思う。また、岡本総務文教委員会委員長がほとんどの競技に顔を出されて激励をされたということで､歴代の委員長でこんなに来られた方がおられたかと、全部は承知していないが、本当にありがたいことだと思ったところである。岡本委員長にはお礼を伝えた。

③ 6 月 10 日（金）浜田高校男女体操部市長表敬訪問（庁議室）

ご存知の様に今年はインターハイの体操競技が浜田である。県立体育館で 8 月 2 日に開会式、3、4、5 日が競技ということで行われるが、島根県の代表として浜田高校の男子も女子も予選で 1 位になって出場するということである。男女アベック優勝については 30 年振りの快挙ということである。1 人ひとり市長に対して抱負を述べていた。ベストを尽くしてくれると思うが、現実のところは私よりも宇津委員が 1 番詳しいが、この前中国大会があり、岡山のチームを見ると、岡山の男子のチームは全国でもトップレベルのチームで、少し技に差があるかなと感じている。実際決勝に残るのはかなり頑張らないと難しいといった気がしたところだが、地元で開催されるインターハイなので良い成績を収めてくれるように祈っている。

④ 6月12日（日）関西浜田会総会（大阪新阪急ホテル）

関西浜田会総会というものがあり毎年市長が行かれるが、当日市の総合防災訓練が旭であり、市長が出かけられないので私が代理で出席をさせていただいた。関西浜田会はまだ旧市町村ごとというか、金城会、旭会、弥栄会、三隅会もたぶんあるのかなという気がしており、今回の関西浜田会というのは、一応門戸は広げているが旧浜田の方がほとんどだといった様な話であった。全員で40人位の出席であった。県の大阪事務所長が来ておられたが、正直言って少し少ないですね、とお話をされた。他の市町村でこういった地元の会をされると益田でも160人から180人ほど毎年集まるといった話をされ、当然松江や出雲は200人を超える方が集まる様である。関西浜田会は今年で29回目の総会であった。来年が30年を迎えるということで、30年を区切りにして少し他の方法も考えなければいけないかということを言っておられたが、金城、旭、弥栄、三隅と統合ということもあるし、もっともっと若い人が参加できる形にしないと、ほとんどが50歳、60歳以上の方という会だったので、その辺のところも課題だという様な話をされていた。いずれにしても浜田に対して、いつも浜田が頑張ってほしい、浜田が元気になってほしいということを大阪におられながら常に情報も入れられて浜田を応援しているといった姿が窺えた。毎年夏休みに浜田の子どもたち、小学生と中学生の100人が関西浜田会主催の関西子どもツアーというものに行って、USJ に行ったり、色々な　観光地を回って、1泊2日の旅行ツアーがあるが、それを主催していただいており、浜田の子どもを毎年受け入れてもらっている。私も商工観光課にいた頃に山根課長と一緒に子どもたちを連れて行ったことがあるが、子どもたちが行儀が悪くても、怒りもせず色々とお世話をしていただいて、今回総会に行って色々と昔の懐かしいことを思い出した。

⑤ 6月17日（金）市議会・提案説明・全員協議会

6月の定例市議会が始まり、20、21、22、23日と一般質問があった。教育委員会関係の質問についてはまた後ほど部長から話があると思うが、今回も10名位の議員から質問を受けたところである。

⑥ 6月25日、26日（土・日）中国地区スポーツ推進委員研修会・基調講演、実技研修（石央文化ホール、県立体育館・他）

土曜の昼からと日曜の午前中ということであったが、当初600 人位が集まるだろうという予測を立てていたが、ふたを開けたら850人位の方が参加をされた。土曜日の昼から基調講演があり、福岡大学の先生がスロージョギングのお話をされた。スロージョギングなら私にもできるかなとその時は思ったが、なかなか続けられず、難しい。その後夜に意見交換会、懇親会がジョイプラザであったが、それも450人の方が参加をされて立食でも会場に入るのかなと思ったが、1階、2階全館を使って450 人を押し込んだという様な感じの懇親会だった。食べるものがたくさんあって、普通あのような立食パーティーをやると早ければ30分、だいたい1時間くらいすると食べるものがなくなるのが普通だが、最後まで料理が余るくらい次から次へと出てきた。来られた方もすごく喜んでおられて、お酒も美味しいし食べ物もたくさんあるし、すごくいい会になって喜んでおられた。市長が最後までおられたということはここ10年間なかったということで、そのことについても大変感じ良く思われていた。そういった大きな研修会があったが、今年はこの研修会やインターハイもあるということで、大きなイベントがあるが、1つ終わったということでほっとしている。生涯学習課は本当に準備から色々と大変だったがご苦労だった。

報告は以上だが、ここまでで質問等はあるか。

質疑応答

| | |
|---|---|
| 藤本委員 | 中国地区スポーツ推進委員の研修会の話があり、多くの人が集まられて非常に驚いた。浜田市は神楽を1つの売りとしていてアトラクションの1つとしてやられたと思うが、私は今までの経験の中で岡山へ行ったときは、岡山は市職員のチンドン屋グループがあり、町懐かしいチンドン屋をされていた。これもなかなか賑やかで良かったと思っている。2 回ほど岡山に行ったときはあった。浜田市もおそらく神楽をされたと思う。 |
| 山根課長 | 前日の講演の時には長沢社中が大蛇を舞い、懇親会の時には佐野社中が恵比寿を舞った。 |
| 石本教育長 | 会場がジョイプラザ 1 階と 2 階とあるので、2 階でも舞って 1階でも舞った。 |
| 藤本委員 | 神楽もチンドン屋もリズムが良い。 |
| 宇津委員 | 昔の話になるが、教育事務所にいた頃に体育指導員の中国大会 |

| | |
|---|---|
| | をやったことがあり、浜田で1200人強だった。その時は県立体育館でレセプションをやった。異例の異例な状況で、ビールが何百本出たか分からないがその時は神楽をやった。神楽についてはとても興味を持たれ、最後は蛇の頭をステージの前に置き、そしたらそこへ寄って写真を撮って帰ろうということで随分な盛り上がりだった。やはり神楽は売っていかなければと思った。今回も大成功で何よりである。 |
| 石本教育長 | 以前の体育指導員が今は名前が変わってスポーツ推進委員になっている。前回浜田で開催したのが20年前である。 |
| 宇津委員 | 遠藤さん等が中心だった時である。 |
| 石本教育長 | 前回20年前に浜田で開催し、今回20年振りの開催であった。また次来るのは20年後かもしれないが、おそらくもう会場が難しいので、今後島根県でやるときは松江と出雲を会場とするということである。5年前は益田でやったが、その時も会場が狭くて大変だったということもあり、なかなか小さいところでやるのは難しいが、あれぐらい来られると地元にお金が落ちるということを実感した。 |

2　議題

（1）社会教育委員の選任について（資料1）

| | |
|---|---|
| 山根課長 | 浜田市社会教育委員の選任についてである。社会教育法第15条の規定により次のとおり社会教育委員の委嘱を求めるものである。社会教育委員については今12名の方を選任していただいていたが、最後に弥栄自治区枠の方を1人。裏面になるが、齋藤繁美さんの推薦があったので、委嘱していただくものである。弥栄町の杵束で昭和22年生まれの68歳の方である。元杵束郵便局長をされており、現在弥栄小の神楽指導などもされている。杵束神楽社中の代表をされていると聞いている。よろしくお願いしたい。 |
| 石本教育長 | これが分かっていれば昨日学校訪問に行った時に挨拶をした。たぶん1階で太鼓を叩いておられた方か2階で叩いていた方かなと年齢的に見て思うが。 |
| 森下分室長 | 兄弟であり、背の高い方が齋藤さんである。 |
| 石本教育長 | 昨日行ったらちょうど練習をしておられた。4人くらい来てやっておられた。<br>そういったことで齋藤さんを新たに社会教育委員にというこ |

| | |
|---|---|
| | とである。何か質問はあるか。 |
| 各委員 | 質問なし。 |
| 石本教育長 | では、新たな社会教育委員として齋藤繁美さんをご承認ということでよろしいか。 |
| 各委員 | 全会一致で承認 |

（2）浜田市指定文化財の指定解除について（資料 2）

| | |
|---|---|
| 渡邉課長 | 浜田市文化財保護条例があり、それに基づき浜田市指定文化財を指定解除するものである。指定解除しようとする文化財は金城の巨樹・銘木が 22 本あるが、その内の 1 本の大谷のヤマガキである。指定は平成 5 年 3 月 31 日、合併前からの指定である。所在地は浜田市金城町上来原 628、所有者は岡本さんという方である。実はこの木は数年前に倒木をしていたということで所有者の方が最近になって届を出してこられたので、現地確認を行い、写真にある様に左側が指定時の状況だが、右側のとおり倒木してだいぶ時間が経っている様子だった。それに基づき 6 月 2 日の文化財審議会へ指定解除を図り、解除止む無しという答申を受けたところである。それを受けて本日の定例教育委員会でご承認をお願いしたい。 |
| 石本教育長 | ただいま説明があった様に、既に数年前に倒木をしていたということで指定文化財としての価値が失われているといった現状の様である。6 月 2 日に開催された浜田市の文化財審議会の中でもこの指定解除は止む無しという様な答申をいただいているということである。この件について質問はあるか。 |
| 各委員 | 質問なし。 |
| 石本教育長 | それでは指定解除ということでよろしいか。 |
| 各委員 | 全会一致で承認 |
| 石本教育長 | それでは提案の様にこの文化財については指定を解除するということにするので、手続きをよろしくお願いしたい。 |

3　部長・課長等報告事項

| | |
|---|---|
| 山本部長 | 平成 28 年 6 月市議会定例会　個人一般質問一覧（資料 3）<br>先週開催した議会の一般質問の答弁について。この度は 21 人の方が質問をされて、教育委員会関係は 9 名が質問された。1 ページから質問内容が書かれているが、まず 2 番の牛尾議員から 400 年関係について（2）教育長の姿勢について、（4）の |

連携について、これは益田市や萩市との連携についてである。（5）以降、松阪市、棚倉町、川越、館林、津山との連携についても挙げている。この度は400年関係で神楽歴史館について4 人の方が質問されている。文化振興課はこの度質問が多く、学力や生涯については質問が少なかった様に感じる。3 番の岡本議員は（3）登録有形文化財の対象となる空き家の活用と保存について。それから2ページ目で柳楽議員は（1）防災訓練・教育について。それから3ページの笹田議員は2の少若化の(1)教育について。芦谷議員は1浜田開府400年から歴史のまちづくり推進について。佐々木議員は 1 の（1）再配置実施計画の方針と学校統合議論の進め方の関係について。4 ページで布施議員は 2 の（1）福島県棚倉町との縁について。岡野議員は 2の（1）28 年度の教育指導要領改訂に伴う変更点と対応について、（2）学校給食の現状について。それから6ページの澁谷議員は10 教育委員会のあり方について、20 の 2 給食センターの統合についてという質問があった。この中で澁谷議員の教育委員会のあり方について、どういうことか説明する。42ページだが、質問としては教育の専門家の教育委員として見解や提言を毎年求め、市民に公表すべきと思う、教育委員方それぞれが市民に考え方等を示すべきではないかということを質問している。答弁書の中段所に「レイマンコントロール」で大所高所から基本方針を決定していく、教育長と4人の委員の合議により決定される、1 番最後のところで、合議制を取っており、教育委員会としての見解や方針は教育長が表明するものと考えております、といった答弁をしている。こういった中で再質問が何点かあるので、紹介しておく。それぞれの教育委員が現場の状況を掴むために何回位学校現場に行っているかといった質問があった。教育長が最高で年間75回、少なくとも39回といった様なことで、委員方は率先して現場に行っているということを答弁した。それから2点目、基礎学力が1番大事だということ。小学6年生で九九ができない子どもがどれ位いるか掴んでいるかといった質問があった。これについては掴んでいないと答弁。3 点目、教育方針の中で「不易流行」という言葉を使っている。「不易流行」とは松尾芭蕉の芸術の言葉であり、それを使っているが、教育でこういった言葉を使っていいのかといった様な質問があり、答弁を求めずに言いっ放しで終わった

| | |
|---|---|
| | ものがあった。特に毎回だが、学校教育に対する質問が多くあった。 |
| | 6月補正について（資料4） |
| | 6月議会での補正の内容である。教育委員会は下の方にあるふるさと郷育推進事業で、前回の定例会でもお話ししたが、Hamadaマリン郷育プロジェクトということで、次のページに詳細があるが、総事業費973万円の内の補助金200万円の補正である。それからもう1点は39番の文化振興事業、宝くじ助成事業による地域コミュニティへの助成を行うということで宝くじ予算を要求して財源が付いたことによる補正である。 |
| | 報告は以上である。 |
| 石本教育長 | 先ほど澁谷議員の再質問の説明があったが、また色々と委員方にお話しさせていただきたいと思うのでよろしくお願いしたい。 |
| 佐々木課長 | 行事等予定表（資料5） |
| | 来月末までの行事予定である。先日学校訪問が始まり、来月にまだ6回残っているが、よろしくお願いしたい。7月5日(火)に市長講話といったものがある。昨年国府小学校で市長が5、6年生を対象に講話をされたが、今年は旭小学校で行う予定である。先ほどの6月補正にあった7月18日（祝・月）はふるさと郷育に関係する海と日本プロジェクト　マリン郷育体験が瀬戸ヶ島を会場にして行う予定となっている。7月16日（土）浜田城再発見については後ほど資料11で説明する。7月21、22日（木・金）にはスーパーティーチャーによる教員研修というものがある。これは資料7の中で出てくるので確認していただきたいと思う。7月23日（土）には中学校総体バスケットボールがある。委員方の関係で、7月21日（木）島根県市町村教育委員会連合会があるが、これもまたその他のところで詳しく説明する。最後、7月29日（金）に県の人権教育夏期研修がある。委員方に案内が送られているかと思うが、これも資料12の方で説明させていただくのでよろしくお願いしたい。以上である。 |
| 森脇課長 | 浜田市の特別支援教育について（資料6） |
| | この資料は浜田市特別支援連携協議会といったものを開催しており、浜田市の特別支援に関係する団体が集まって話し合いをするが、その時の資料として作ったものである。1ページ |

の上のところだが、方向性ということで目標を持っている。1つに、「障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、個に応じた適切な教育を行い、持てる能力を最大限に伸ばすことを目指します」。2として、「障がいに基づく種々の困難を改善・克服し、持てる力を活かすことによって可能な限り社会的に自立し、地域の一員として貢献する意欲を培うことを目指します」。3として、「学校・家庭・地域及び関係機関の連携のもとに、乳幼児期から青年期に至るまで一貫性のある教育を目指します」。といったことを目標としている。その下のところで主な取組としてライフステージにあわせた支援ということで就学前から進学・就職に向けて一貫性のある支援をしたいということで話をしているところである。2ページ目のところについては、幼稚園・保育園から学校に行く時に、円滑な引継ぎや支援をしてほしいということが書いてあるところである。3番目の小中学校での支援については、通常の学級での支援、特別支援学級での支援、特別支援学校での支援ということを書いている。そして4番目のところで、高校（養護学校高等部）への進学や就労に当たっての支援ということで、こういうことをしていきたいということで書いている。3ページ5番では教育支援委員会の教育相談と支援の流れということで、特別支援学級に入るか否かについて話し合う教育支援委員会を行っているが、その時の審議の流れを書いている。4ページでは平成28年度の重点テーマということで、関係機関と協力した早期の就学相談から色々な取組をしたいということで掲げているところである。今月また特別支援連携協議会を開くときに関係機関とも確認をしていきたいと思っているところである。5ページでは、浜田市の特別支援教育の状況ということで取組の内容を書いている。教育委員会の取組状況ということで（2）に相談支援チームの活動状況を挙げている。相談支援チームは子育て支援課と教育委員会、それから学校が協力して市内の幼稚園、保育園、それから小学校・中学校も回るようになったが、回っているときに子どもたちにどういう風に関わってきたかということで、訪問対象の実績というところで、就学前の子供たちをこの位の人数を、見たということを挙げている。平成27年度は 290 人の子どもたちを各幼稚園分回って様子を見てきた。必要な場合には教育支援に繋げていったということであ

る。下のところで、浜田市教育支援委員会の状況を書いている。27 年度は 8 回の支援委員会を行い、審議件数の状況の右下のところに 27 年度の件数 54 件の案件を審議した。答申の状況だが、通常の学級という答申が出たものが 8、特別支援学級、知的・自閉情緒・難聴・肢体不自由、それぞれの人数を出している。なお、括弧の中には例えば特別支援学級への入級という答申が出ていたが、保護者の同意が得られずに通常の学級に行かれた人数を書いている。次のページでは通常の学級における特別支援が必要な児童・生徒数調査を毎年 9 月に行っているが、この状況を挙げている。

この表の 27 年度のところを見ていただくと小学校で 11.23%、中学校で 7.22%、全児童生徒で 9.86%と、ほぼ 10 人に 1 人が特別な支援が必要ではないかと、学校の先生が感じられている人数である。必ずしも診断名が付くかどうかわからないが、こういった状況が学校にはある。4 番には特別支援学級の児童生徒数、5 番には通級指導教室利用者数を挙げている。6 番目ににこにこサポート対象児童数と書いている。にこにこサポートは通常の学級で支援が必要な子どもたちのために県が非常勤講師を付けているが、にこにこサポートと学校支援員の差は取り出し授業ができるというところである。学校にとってはとても大切なサポートになっているが、昨年は配置校が 9 校あった。要望校は 11 校あった。要望してもなかなか付けていただけないという状況がある。7 番では特別教育支援員の配置状況、8 番には市内中学校における平成 28 年度高校進学状況及び就職状況を書いている。この中で県内私立学校や、特別支援学級の卒業生が何年かに 1 度全日制であるとか、定時制や私立学校に行っているが、なかなかそういうことが難しい状況にある。次のページからは色々な資料になっているので、またご覧いただけたらと思う。以上である。

岡田室長

平成 28 年度　学力向上推進室の事業進捗状況・今後の予定等（資料 7）

資料 7 は今年度の学力向上推進室の事業進捗状況になる。1 番コア・ティーチャー視察研修だが、6 月 20 日から 24 日のところで研修に行ってもらっている。私も最初の 2 日は参加させてもらった。福井県の春山小学校と清水中学校。1 日目、2 日目はこの清水中学校にお邪魔したが、清水中学校は浜田でいう

と金城町や三隅町の様に以前は福井の市ではなかったと言われた。福井の教育として今まで行かれた方々も言われた様なことはここでも取り入れており、福井の教育が浸透しているのだなということを改めて感じた。3名の先生方については2学期のところを目途に授業を報告等していただく予定になっているので、日程を詰めてまたご紹介していきたいと思う。

2番目の学校図書館活用教育研究指定校の6月公開授業が全部終わったが、松原小学校、原井小学校、弥栄中学校で行った。図書館活用教育ということで、私も松原小学校には日程があったので見せていただいたが、特別支援学級ということで先生と子どもの1対1の授業だった。大変綿密に計画が練られており感心した。確かに今までの成果が表れているのではないかと感じている。それからスーパーティーチャーによる教員研修開催についてはこれから行われるものである。

昨年度も来ていただいたが、筑波大学付属小学校の二瓶先生が国語の公開授業を 21 日の午前国府小学校で行われる。その翌日に環太平洋大学の前田先生が算数の公開授業を行われる。こちらは長浜小学校で授業をされるので、もし授業への参加、見学等の希望があったら各校とも受け入れていただけると思うので、またお知らせいただきたい。

それから4番、協調学習の研修だが、今年は2日に増やして実施をすることにした。17日のところは今まで体験されたことのない方も基礎から学んでいただけるような内容になっている。18日は若干発展した内容になっているが、初めての方でもできるように工夫しようということで、2 日目のところは今年度から浜田教育センターの指導主事に入られた佐々木挙匡先生が実践報告をしていただくことになっている。それからそれぞれのものが都連の指導案を基に研修を深めるということにしている。場所は浜田市立中央図書館で昨年度も来ていただいたCoREFの特任教授、齋藤萌木先生にご指導していただくことになっている。

5 番目の学校図書館活用教育研修会ということで、今日も三階小と原井小で実施されているが、浜田市教育委員会のタブレットにポプラ社の会社のポプラディアというネットに繋がって引くことができる様なソフトを入れているということと関係があることで、ご厚意だと思うが、ポプラ社の会社の方々が、

| | | |
|---|---|
| | もしも希望があればやりますよ、ということで何度か研修をしてくださっている。8 月 19 日（金）もポプラ社の方から講師の先生をお呼びして行うということになっているので、詳しい内容についてはまだ確定ではないが場所は国府小学校図書室で 10 時から小学校、13 時から中学校の内容で開催することになっている。<br>最後に 6 番の中高一貫教育シンポジウムを開催することにしている。8 月 20 日（土）14 時から 17 時、島根県立大学交流センターコンベンションホールで鎌倉女子大学教授の高橋先生と徳島県の富岡東中学校・高等学校の方から 2 名お招きをして事例報告をしていただき、パネルディスカッションを行うということにしている。詳しい内容については資料 8 の方に書いているので、今後の浜田市の教育を考える機会にしたいということで開催するものなので、興味があったら参加いただけたらと思う。チラシの方も遅ればせながら作っている最中なのでまたお知らせしたいと思う。以上である。 |
| 山根課長 | 平成 28 年度　全国高等学校総合体育大会体操競技について(資料 9)<br>全国高等学校総合体育大会体操競技の準備状況、今後の日程について報告する。あと約 1 か月となり、準備を進めているところである。1 番目の大会関係日程について、7 月 5 日に全国の役員が来られて、演技の順序抽選会が行われる。7 月 29 日には会場準備に入る。8 月 2 日の夕方から開会式が会場の方で行われる。8 月 3 日、4 日が予選の演技となる。8 月 5 日が決勝、閉会式となる。演技会場は県立体育館（竹本正男アリーナ）、サブ会場が浜田高校体育館、練習会場が金城のふれあいジムの B アリーナになる。2 番目に浜田市の実行委員会の主な取組状況だが、懸垂幕、横断幕を今設置している。それから市内にはポスターやのぼり等を各所へ設置しているところである。大会の期間中には県立体育館の 2 階と JR 浜田駅に案内所を設置する予定としている。大会の開催中には県立体育館の前でスポーツ関係、読売新聞の方、商工会議所・観光協会の合同の出店、楓ジェラートの車が来て産品を販売してもらう予定となっている。それから高校生による PR 活動ということで、大会の準備を進めているが、県大会、それから中国大会でのリハーサルを実施してきたところである。市内 3 校の高校生の生徒もそれ |

ぞれの配置において今最後の確認をしている様な状況にある。選手の配宿予定では浜田市内、それから江津市内、益田市内、邑南町にも入ってもらう予定となっている。大会期間中の選手役員等のお弁当についても市内の業者で対応する。大会期間中に一昨年浜田郷土資料館で開催した竹本正男展を2階のロビーで開催する予定としている。教育長からもあったが、5 月 28 日、29 日に行われた島根県大会で浜田高校男女体操部がそれぞれ優勝しているので、このインターハイへ出場ということになっている。応援していきたいと思う。

浜田市体育協会発足 10 周年記念事業について（資料 10）

浜田市体育協会発足 10 周年を迎え、記念事業を 2 つほど計画している。1 つ目は記念講演会ということで、東北楽天ゴールデンイーグルスの副会長である星野仙一さんの講演会を開催する。8 月 28 日（日）の 13 時 15 分から予定している。入場料は無料だが、整理券を配布することとしている。各種入場方法を記載しているが、体協の加盟団体、あるいは市内の中学校・高校の野球部員、それからスポーツ少年団、浜田ボーイズ、県立大学野球部、リハビリテーションカレッジ野球部、協賛をいただいている中国電力のそれぞれに配布する。また、一般市民の方には葉書による応募をしていただき、広報はまだ、ホームページに載せているが、7 月 25 日締切で葉書を出していただくようになっている。主催は体協と共催で浜田市・浜田市教育委員会、協賛は中国電力である。2 番目に生涯スポーツの記念事業ということで、グラウンドゴルフとゲートボール大会、ウォーキング大会を記念事業として実施する予定としている。それぞれの大会は 9 月から 11 月の間にそれぞれの団体の協力を基に実施をして上位入賞者、それから入賞者については記念品、商品を贈呈する計画にしている。以上である。

渡邉課長

平成 28 年度　浜田開府 400 年記念関係講演会について（資料 11）

平成 28 年度浜田開府 400 年記念関係講演会についてご案内する。先ほどもあった様に 7 月 16 日（土）から始まり、今年は 3 回に分けて行う予定である。昨年度は、1 番下にある浜田開府 400 年記念講演・座談会第 1 弾ということで、県立大学のコンベンションホールで開き、浜田藩の最初と最後、はじまりと終焉ということで約 250 名の方に参加いただいた。今年は 3

つに分けて行う。最初は7月16日（土）13時30分から浜田公民館で浜田城再発見ということで浜田城の復元CGを作成した。それに基づき現在は石垣しか残っていない浜田城がどういった様な城だったのかということを CG を見ながら皆さんに解説と、昨年岐阜県のメーカーの方が浜田城のペーパークラフトを製品化された。その城のペーパークラフトは紙で立体的に作っていくが、結構難しく大人でも1日かかる様なものだが、メーカーの中でも有名な姫路城とか彦根城や熊本城とかを作っていて、浜田城もなかなか味わいがあっていいということで作られた。ペーパークラフトについて県の建築士会浜田支部の國分さんに解説をいただき、希望者にはペーパークラフトを1千円だったと思うが販売をして、実際に作ってみて浜田城がどうだったかということを考えるという趣向にしている。

2つ目は浜田の幕末維新150年講演会ということで、小説「花神」で浜田の幕末について詳しく書かれた司馬遼太郎さんがいらっしゃるが、城山や浜田藩についても書かれているが、司馬遼太郎さんと三隅町井野出身の三浦浩さんの間において、石見郷土研究懇話会長の岩町功先生は交流があったということで、そのことについて司馬遼太郎さんと浜田がどういう関係があったのかということを講演いただこうと思っている。

1番最後だが、浜田開府400年記念講演・座談会第2弾ということで、10月29日（土）14時から県立大学のコンベンションホールで、今回は視点を変えて、浜田藩は何回か城主が変わっているが、城主が変わるということは、それに伴って前にいた地域との関係など色々なことが生じてくる。浜田藩でいくと岡山県津山市、今年は墓参に来られるが埼玉県川越市の初雁温知会という団体である。その辺の方とどういった交流が江戸時代にあったのかということを紐解いて知っていただくということを中心に調整を行っているところである。すべてについて参加料は無料である。以上である。

村瀧室長

2016年度　島根県人権教育夏期研修　開催要項（資料12）

7月29日（金）13時15分から三隅中央会館においての開催となる。この研修会は県の持ち回りとして開催しており、地元として浜田市教育委員会三隅自治区人権・同和教育推進協議会が共催となっており教育長に歓迎のご挨拶をお願いしているところである。研修内容は講演2本となっている。1つ目が「ふ

るさとへのエール～人権の日本近現代史を歌でたどりながら～と題して、裏面にプロフィールがあるが、石見町出身の公益社団法人全国人権教育研究協議会事務局次長の古川正博さんが講演される。2 つ目は「道祖本事件（1985 年）から 30 年～差別の現実から深く学ぶ～」ということで、近畿大学人権問題研究所教授の奥田均さんに講演いただく。地元としてこの研修会へ 10 万円を負担している。通常だとこの会には 1 千円の参加費が必要となってくるが、地元として無料となっている。この道祖本事件から島根県の同和教育行政の取組が進んだと聞いている。正しく知るということは大変大切なことなのでぜひご参加いただくようご案内いただけたらと思う。

森下分室長　　杵束公民館まつり～泥おとし～（資料 13）

既に終わったことだが、杵束公民館まつり～泥おとし～を開催した。5 月 28 日（土）に行った。毎年農作業がひと段落したこの時期に泥おとしということで杵束公民館が開催している。内容的には特に変わったことはないが、泥おとしという観点から子ども対象ということでそれぞれ農作業に関連した様な催しをして、さらに地元と三隅の上今明田ばやし保存会に田ばやしを披露していただいた。下の写真は上今明田ばやし保存会で、この中には飛野議員もメンバーとして入っている。以上報告である。

吉野分室長　　第 3 回石州和紙うちわアート展について

急遽資料を配らせていただいた。カラー刷りの表裏のものだが、第 3 回の石州和紙うちわアート展というものがあり、今日詳しい打ち合わせがあり持参させていただいた。募集期間を 6 月 27 日から 7 月 8 日までとしている。3 回目だが、1 回目が約 350 点、昨年の第 2 回が 700 点余り募集をいただいた。しかも昨年から益田市の鎌手小学校や江津市の渡津小学校からも出展をいただいており、今回が第 3 回だが浜田市全域の小中学校、それから全公民館、そして益田市内の小中学校と江津市内の小中学校にご案内させていただいている。今日打ち合わせがあったが、今まで賞というものを設定していなかったが、今回の第 3 回から特別賞を設定しようということで、まだ詳しくは決まっていないが浜田市長賞とか浜田市教育長賞とか、そういった賞を設定しようという動きがあるので、またお願いの文書が依頼すると思うのでよろしくお願いしたい。裏面の真ん中にキッ

ト販売とあり、一応料金がいる。ただし高校生以下は石州和紙とプラスチック製の骨については無料となっており、一般の方は100円いる。石州和紙と竹製の骨、昔のうちわということになるが、それは高校生も大人も300円といった内容になる。その販売場所については実行委員会である三隅中央会館の事務局、石州和紙会館、アクアみすみ、石正美術館の方にもあるのでぜひこの際に皆さんもご出展いただけたらと思う。以上である。

石本教育長　これらのことについてご意見、ご質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員　資料6の5ページのところで、平成27年度の状況が（1）から（3）まであるが、（3）のところには括弧書きの説明、同意が得られなかった件数ということで、6人とあるが。状況をお聞きするだけだが、例えば入学時に特別支援学級の方でという方針を伝えても保護者の方からそうではなくて通常学級でということがあると思う。私も当然あると思う。それはそれでいいが、その子が1年から2年、2年から3年と進学していくわけだが、その子の様子を1年1年見ていってやはり特別支援学級の方がいいのではないかといった様な指導はあるのか。

森脇課長　そういうお子さんについては、やはり学校でも気になる子どもなので毎年調査書を出していただいている。それで保護者さんとは毎年話をして受容を高めてご理解をいただき、特別支援学級に入ることがある。しかしその中には受け付けられない方もいる。特に学校としても苦労するのが、知的障がいである。私が関わる子どもの中でIQ70以下が軽度の知的障がいとなるのだが、IQ50台の子どもが特別支援学級にほとんどいなくて、養護学校にいかれる様なお子さんなのだが、通常学級に行かれるお子さんがいる。先ほどのにこにこサポートは知的障がいは対象外である。支援の仕方もなかなか難しいという状況がある。

藤本委員　資料7でスーパーティーチャーによる教員研修の開催校の決定とあり、既に決定している様だが、これは日程の関係もあるが私どもが申し込みもせずに行っても大丈夫なのか。

岡田室長　連絡をいただければ学校の方にも連絡をしようと思う。人数的には問題ないと思う。学校の方でも把握してもらおうと思うので、もしご希望があったら私の方まで連絡いただきたい。

| | |
|---|---|
| 藤本委員 | 以前これとは違って（4）の協調学習に何回か参加させてもらったが、感想等を求められて、どういう風に言おうかと思い、まとまりのない発言をした覚えがある。 |
| 石本教育長 | その後の研究協議に参加せずに授業だけ見て帰ることもできるか。 |
| 岡田室長 | 可能である。ただ協調学習は参加されたらご意見をくださいといわれる可能性は、そういったことを思いながらやっておられる集団なのでお互いに指導案を一斉にメールで流されて、何かあったら教えてくださいといった感じで取り組んでおられるので、どんな意見でも参考にして取り入れたいという気持ちを持っておられると思う。 |
| 藤本委員 | こちらも自分の日程が可能であれば教育委員会へ連絡すれば良いか。 |
| 岡田室長 | そうである。 |
| 石本教育長 | 今時点で開催時間は分かるか。 |
| 岡田室長 | 資料は準備してあるので、後ほどお知らせする。 |
| 金本委員 | 21 日は松江に行かなければいけないので参加できない。 |
| 山本部長 | 22 日は 9 時 15 分から 10 時が長浜小学校である。 |
| 石本教育長 | これが公開授業か。 |
| 山本部長 | そうである。 |
| 石本教育長 | その後に研究協議がある。 |
| 山本部長 | 教科は算数か。 |
| 岡田室長 | そうである。 |
| 石本教育長 | 中高一貫教育シンポジウムについて、この資料を校長会で配った時に校長先生方からもご質問があったが、これをやるということは浜田市としては中高一貫教育を推進するという強い意志を持って取り組まれるのかという様な話があった。中高一貫については元々市長はそういった思いを市長になられる時から持っておられたが、一昨年市内の高校 3 校の高校のあり方を市民の皆様方と検討していただいた中でそれぞれ 3 つの県立高校がもっと魅力化を図らなければいけないという様なご提言があり、その中で浜田高校のやっぱり使命というのは上位の大学等に進むということが大きな目標なので学力を上げるために中高一貫校、そういったものに取り組む。附属の県立の中学校を作るということだが、そういった取組も 1 つの方法だろうということで市民の方からもご提案があった。それを受けて浜田市として県の方へ魅力化 |

の1つの方向性としてそういったものがありますよといった様な要望書を出している。それに対して県からの回答をまだいただいていないが、そういったことで市から県へお願いをしているといった様なことで、これが進むというわけではないが、中高一貫教育を取り組めば本当に学力が上がるかどうか、中高一貫教育のメリット、デメリットというか、当然やることによってデメリットの部分もあるはずである。その辺のところをこのシンポジウムを開いて市民の皆様方によく分かっていただいてそのうえでやるかどうかといったことをまた判断をしたいということで、このシンポジウムを開催するということになっているので、その様にご承知をいただきたいと思う。市長と雑談をする中で、反対が多いだろうなということは重々承知をしておられるが、全国 47 都道府県で中高一貫の県立の都道府県立でやっていないのは4都道府県しかない。あとの 43 都道府県はもうそういった取組をされている。ぜひ島根県も他市と同じ様に取り組むべきだろうという様な思いを市長は持っておられる。ただ人口規模等の問題もあって、大きいところはそうではないかもしれないが、小さい地方都市で実際にこういった取組がどうなのかということを危惧される方もおられるので、今回は実績を挙げておられる徳島県の富岡東中学校・高校は徳島県の阿南市というところにあるが、そこにある中高一貫校である。中高一貫校になって学力が上がったというか、難関大学に何人も行っている実績がある学校である。阿南市は7万5千人で浜田市とあまり変わらないが、県立の普通高校が富岡東高校と西高校と 2 つあって、2 つともそれなりに頑張っているということである。鎌倉女子大学の高橋先生、この方は正直いって中高一貫教育の取組については日本の第1人者といってもいいくらいの方で、横浜市立の南中学校と南高校の一貫校の校長先生をされた方で、横浜市の先生だったが、横浜市の教育委員会に入られて、中高一貫教育のことを勉強されて最初に学校を作って、作った学校に校長として行かれて実績を挙げられた方で、実は浜田高校出身で、江津市出身の方で市長と同級生の方である。そういった方で昔から色々と取組のことを聞いておられて浜田にも取り入れたいという思いが市長には強くある。

| | |
|---|---|
| 金本委員 | 森谷議員の質問で、資料3の5ページの 17（1）危険性についてはどういうことか。 |
| 山本部長 | 女性のシェアハウスの防犯上の問題のことだと思う。 |

石本教育長　数年前の県立大学の女子大生の事件のことを出されて、そういったことがあったのに女性だけでシェアハウスに住む、それも山間地域で。大丈夫なのかという視点のご意見だった。私も最初に見た時に車で行き来するので大丈夫なのかと思い、そういう危険性かと思ったがそういう話ではなかった。

今日資料6で特別支援教育の概要なり状況をまとめた資料があった。こういう資料はありがたい。こういう資料を各課どんどん教育委員会に出していただければいいなと感想を持った。

体協の10周年記念事業は委員方にはご案内があるのか。

小林係長　今日お渡ししている封筒の中に入っている。

石本教育長　出席ということになると整理券か何かがもらえるのか。

小林係長　席をご用意する形になると思う。

石本教育長　また何かありましたら事務局の方へ問い合わせをお願いしたい。

4　その他

(1)島根県市町村教育委員会連合会平成28年度第2回理事会、総会及び研修会について

小林係長　先に文書でご案内しているが改めてご案内である。内容的にはご案内以降変更はない。7月21日に決定した。午前8時頃から出発をする予定としている。講演内容、研修会内容等が固まったら改めて、移動も含めてご案内したいと思う。市役所に集合していただき、車で移動ということを想定しているのでよろしくお願いしたい。以上である。

石本教育長　8時30分に出るか。

小林係長　8時15分過ぎで少しぎりぎりだったかなという気が前回あったので、ちょっと早めにしているが、ここはもう少し調整ができるところである。

石本教育長　この日は委員方はご都合大丈夫か。

各委員　大丈夫である。

石本教育長　それでは7月21日はよろしくお願いしたいと思う。終わって帰るとかなり遅くなるか。

小林係長　18時過ぎになると思う。

(2)平成28年度西部地区①教育懇話会について

小林係長　先ほどと同様にお知らせしていたが、7 月 29 日に江津市で開催されるということで日程の確保をお願いしていたが、今年度は現時点では未定ということになっている。本日また県教委から連絡があり、懇話会のあり方ややり方などについて市町村教委に照会があった。また後程そういった関係の紙をお渡ししようと思うが、今年度あるいは来年度以降の懇話会についてのあり方がこのアンケートによって変わってくる可能性もあるし、引き続き同様の形であるということも想定される。現時点では日程が未定ということになったので、これについてご承知おきいただけたらと思う。内容等、県教委の考え方などについてはまた後程文書をお渡しする。

石本教育長　県西部地区の教育懇話会が 7 月 29 日に予定されていたが、とりあえずそれは中止というか延期となり、今後のことは未定ということで良いか。

小林係長　そうである。

宇津委員　開催地についても未定か。

小林係長　開催地そのものは変更の可能性はないかもしれないが、その辺りもまだはっきり分からない状態である。

石本教育長　もともと県西部、益田まで含めて全体 1 か所でやっていたが、それを昨年から 3 市 3 町、浜田管内だけでやろうということで大田市でやったが、また教育長が変わられて、このあり方について振出しに戻って考えたいという様なことを言われて、元に戻されるのかもっと細分化されるのか分からないが皆様方の意見を聞いた上で新しいやり方を決めたいということである。また後で資料をお願いしたい。

(3) その他

栗栖分室長　先ほど教育長の報告にあった土俵開きについて。本当に天候にも恵まれて、いらっしゃった親方の奥様は、日本でもナンバー1 のフラダンサーだそうである。その方と 1 歳と少しのお子さんも一緒に来られて、その時の様子もすぐにアップされて、ひょっとしたらもう消えているかもしれないが、武蔵川部屋のホームページを見ていただくと連載で写真を使って色々なところを PR していただいていた。

また、今日の山陰中央新報等新聞にも出ていたが、旭小学校の以前から取り組んでいた「繋ごう桜プロジェクト」ということで

ずっとやってきていた。もちろん県の方の大会でも優秀賞を受賞したが、この度全国規模で国土緑化推進機構理事長賞を受賞することが決まった。数日前に内示、打診があったが、まだ何もないので発表するのは早いかと思っていたら、新聞の方に出てしまったというのが実情である。この緑の少年団の活動発表大会というのが 10 月に京都である。ここへ参加されるということである。これは毎年のことだが、全国の育樹祭というものがあるので、その中の一環として取り組まれると聞いている。大変栄誉なことでもあるし、今の旭小学校の児童もそうだが、今の旭中学校の 1 年生が 1 番活躍してやった成果でもあるということで小学校だけではなく、中学校も一緒に祝ってあげたい。

| | |
|---|---|
| 石本教育長 | 紹介しなければいけないのに漏れていて申し訳ない。今日新聞に大きく載っていた。今市小学校の閉校式の時に私が読んだ挨拶の中にも今までずっと緑の少年団の活動を今市小学校が取り組んできて、何年に県 1 位になったとか、何回も県の代表になったとかいうことがあった。今回の全国の 1 番良い賞というのは今回が初めてということである。長年の下地もあった上に、今回の統合での桜の移転というか移植をされた。明日校長会があるのでまた披露しておこうと思う。10 月に京都で発表するのか。 |
| 栗栖分室長 | その予定である。 |
| 石本教育長 | その他よろしいか。 |
| 森脇課長 | 旭小学校で 7 月 5 日に市長講話ということで、「なぜ勉強をするのか」という題材でお話をされるということで委員方には公式にはご案内していないかもしれないが、これを機会にもし行ってみようという方がおられたら私の方まで連絡していただけたらと思う。 |
| 石本教育長 | 14 時からだったか。 |
| 森脇課長 | 行ってくださいというわけではないが、もし興味があって行かれる方がいらっしゃればということである。 |
| 石本教育長 | 午前中は学校訪問があるので、昼からということである。 |
| 宇津委員 | 昨年国府小学校の講話に行かせていただいたが、子どもたちが食いつくように、しかも非常に親しく感じた。感想の中で好きだという意見もあった。 |
| 石本教育長 | 内容は昨年とほぼ同じだと思う。 |
| 宇津委員 | 資料はご自分で作られるのか。 |
| 石本教育長 | 資料は自分で作られている。私も行く予定だったか。 |

| | |
|---|---|
| 森脇課長 | 欠席されるということだった。 |
| 藤本委員 | この日は学校訪問があるが、午後は空くのか。 |
| 石本教育長 | 午後は空く。 |
| 藤本委員 | 前回の定例会の時に午後も空けておいてほしいという話があったので。 |
| 小林係長 | 学校訪問の予備日としてその日の午後を考えていたがそこに入れる必要がなくなったので大丈夫である。 |
| 藤本委員 | ここが空けば私も行こうかと思う。 |
| 石本教育長 | よろしくお願いしたい。 |

次回定例会日程

定例会　7 月 27 日（水）　13 時 30 分から　浜田公民館第 1 研修室

16：33　終了